

過ち

朗読・編集：黒崎キリト 台本：久遠真雪

君の目の中に波打つ景色
その一つで良かった
初めは それで良かった

何もなかった部屋に思い出が揺らいで
空と海の
青い空間が出来ていった

光があった
隠していた影が浮かび上がって
触れるのを恐れた本心さえ
見透かされてしまう

ずるいじゃないか
こんなに鮮明な色を残して

透明な君を黒で塗り潰したい

ひとかけらの景色じゃ足りない
僕だけを心に映せばいい
その無垢な輝きの中に
過ちをこぼして
堕ちて 囚われていて